

専攻医評価票（指導医用）（プログラム責任者名 _____）

| | |
|--------|----------------------|
| 研修病院名： | 期間：平成 年 月 日～平成 年 月 日 |
| 専攻医氏名： | 評価指導医名： _____ 印 |
| | 評価医療従事者名： _____ 印 |

| | 評価項目 | 優 | 可 | 不可 | コメント |
|--------|----------------------------|---|---|----|------|
| 学習 | 専門知識量 | | | | |
| | 自主性 | | | | |
| | 集中力 | | | | |
| 態度・倫理観 | 外来診療 | | | | |
| | 入院患者・家族との communication | | | | |
| | 医療職スタッフとの communication | | | | |
| | 全般的倫理観、責任感 | | | | |
| 専門スキル | 検査手技 | | | | |
| | 診断能力 | | | | |
| | 手術手技 | | | | |
| | 治療計画の妥当性 | | | | |
| | カルテ記載内容と完成 までの期間 | | | | |
| | IC の内容 | | | | |
| 発表・研究 | カンファレンスの発表 | | | | |
| | 学会発表・論文の作成 | | | | |
| | リサーチマインド | | | | |
| リスク管理 | 外来 | | | | |
| | 病棟 | | | | |
| | 手術室 | | | | |
| | 報告・連絡・相談 | | | | |

指導医が行う専攻医の評価基準（優・可・不可）①

学習

- ・ 専門知識の程度
優：顕著で有り合格。
可：やや物足りないが合格。
不可：不十分であり不合格。
- ・ 自主性
優：自発的学習し、指摘後もすぐに学習する
可：指摘されてから学習するが合格
不可：指摘されても学習しない
- ・ 集中力
優：高い能力がある
可：普通である
不可：集中力に欠ける

態度・倫理観

- ・ 外来診療
優：診療はスムーズで患者苦情もない
可：普通である
不可：種々の努力が必要
- ・ 入院患者・家族とのコミュニケーション（意思疎通・協調性・自己表現）
優：患者・家族からの評価が高い、またはそう思われる
可：普通である
不可：患者から苦情が多い
- ・ 上司・同僚・医療職員とのコミュニケーション（同）能力
優：評価は高い
可：普通である
不可：全く評価されない
- ・ 全般的倫理観・責任感
優：高い倫理観・責任感がある
可：普通である
不可：倫理観に欠け問題を起こした、または責任感に欠ける

指導医が行う専攻医の評価基準（優・可・不可）② 専門スキル

- ・ 検査手技
優：的確に効率よくできる
可：合併症無く一人でできる
不可：理解不足で一人で出来ない
- ・ 診断能力
優：鑑別診断を含め思考過程が整然としている
可：普通に診断は出来る
不可：基本からやり直すべきレベル
- ・ 手術手技
優：理解度は高く、自分で出来る
可：理解しているが途中までしか自分で出来ない
不可：理解不足で研鑽し直し
- ・ 治療計画（プランニング）の妥当性
優：納得できる計画を立案できる
可：普通である
不可：思考過程から研鑽し直し
- ・ カルテ記載の内容と仕上げまでのスピード
優：完成度の高いカルテを遅延無く作成できる
可：普通に作成できる
不可：不備があり遅れがちである
- ・ インフォームドコンセントの内容
優：理解しやすく十分な内容の説明が出来る
可：普通である
不可：理解しにくく内容も不十分である

指導医が行う専攻医の評価基準（優・可・不可）③ 発表・研究

- ・ カンファレンスの発表
優：ポイントを捉え上手なプレゼンテーションが出来る
可：普通である
不可：発表能力に欠けさらなる研鑽が必要
- ・ 学会発表・論文の作成
優：積極的で有り、自主性を持って実践している
可：普通である
不可：全く興味が無い
- ・ リサーチマインド
優：探究心が旺盛で自主的に参加している
可：普通である
不可：全く興味が無い

リスク管理

- ・ 外来でのリスク管理
優：十分な配慮がなされている
可：普通である
不可：不十分である
- ・ 病棟
優：十分な配慮がなされている
可：普通である
不可：不十分である
- ・ 手術室
優：十分な配慮がなされている
可：普通である
不可：不十分である
- ・ 報告・連絡・相談
優：初動が速く、漏れがない
可：普通である
不可：不十分である